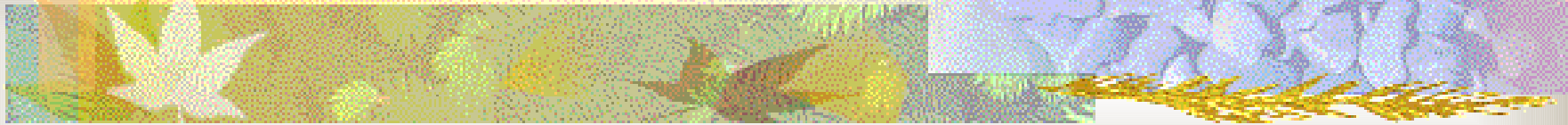


# •ある羊飼いの物語



- 2004.07.16
- Shibata@luky.org





# ● 目次

- 登場人物(?)紹介
- 羊飼いの生活拠点
- 羊飼いの一日の動きあらまし
- 餌場への移動
- 水のみ場への移動
- 飼育場と小屋に戻ってから
- 情報と制御の流れの整理
- ポイントの列挙
- まとめ
  - 尚、本物語はフィクションであり、実在の人物や場所とは関係ありません。また、実際の羊の生活とは異なる部分がありますがご了承ください。

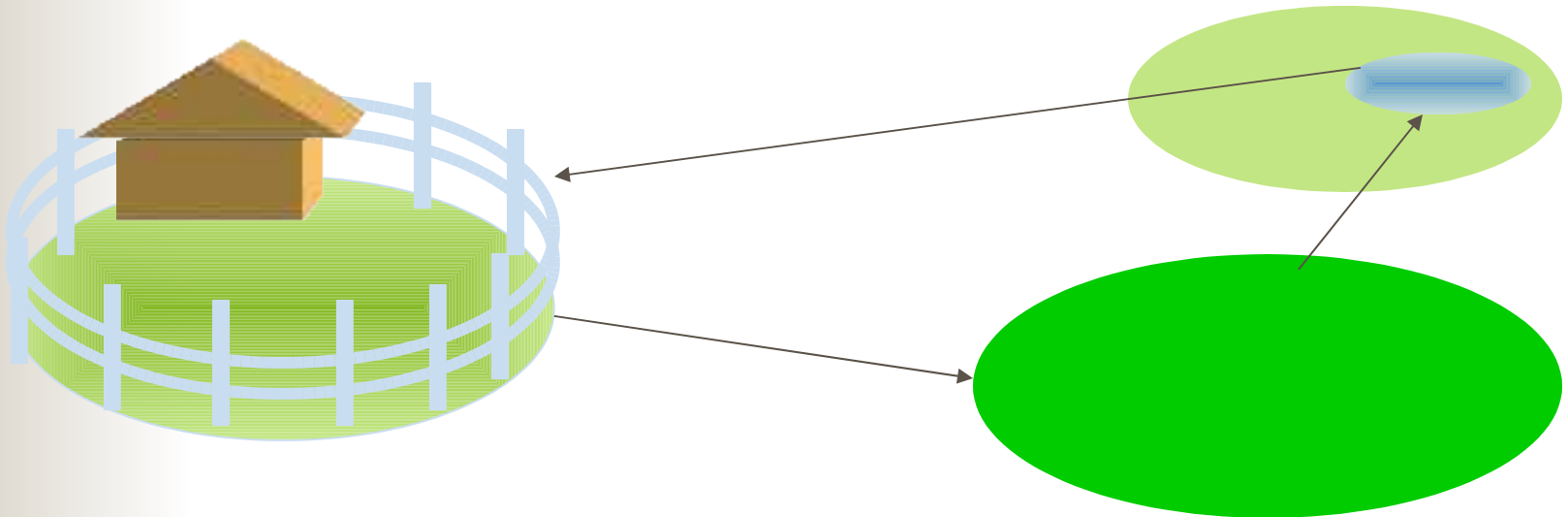


# ● 登場人物(？)紹介

- 羊飼い
  - 羊の飼育を生業としている。
  - 毎年、うまく・大きく育てる工夫をしているベテラン。
- 羊飼いの息子
  - 父親と一緒に羊を飼っている跡取り息子。
  - 学校に通いながら、家では父親に羊飼育の指導されている。
- 犬たち
  - 羊に近寄る狼から羊を守る。
  - 羊飼いの呼び声によって、羊の移動を助けている。
- 羊たち
  - 自分の意志はあるが、あたりまえながら羊のことしか考えていない。
  - 種の保存の意思は旺盛である。

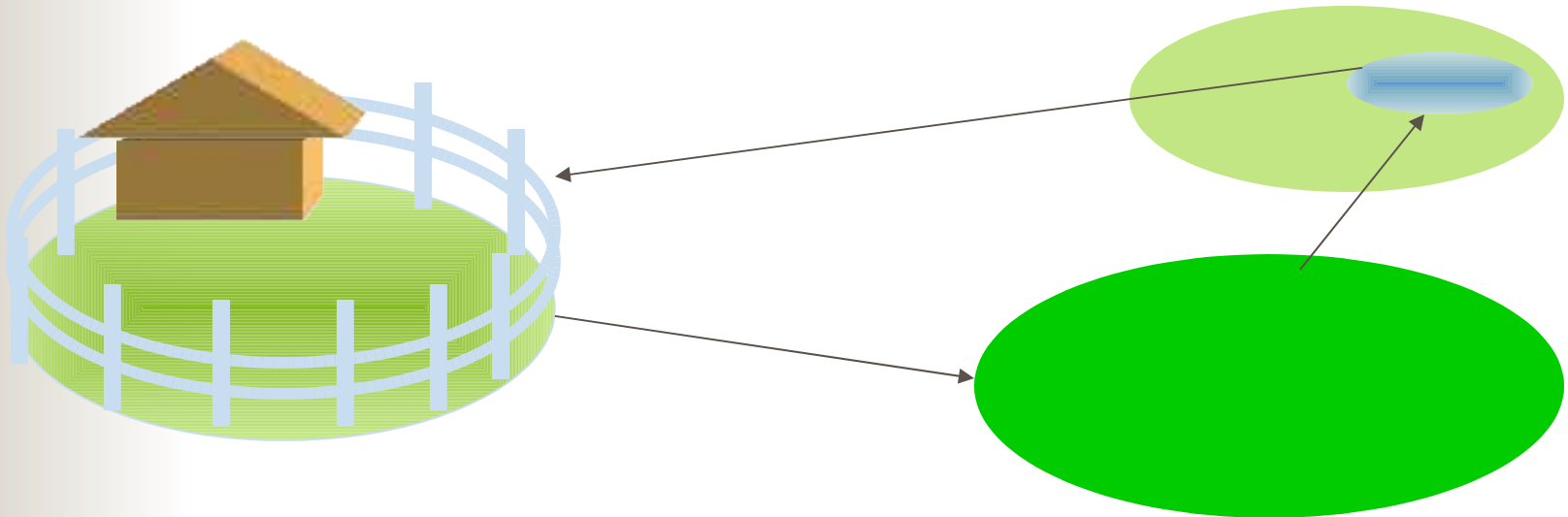
# 羊飼いの生活拠点

- 羊小屋：生まれたばかりの子羊などはここで寝る。
- 飼育場：成育した羊が寝るところ。小屋の周り。
- 餌場：広い草原。小屋から数km離れている。
- 水のみ場：高原と小屋とは三角形の位置関係。



# ● 羊飼いの一日の動きあらまし

- 一日の動き
- 朝、餌場に連れて行く。食べたなと思ったら、水のみ場へ。その後、飼育場に戻る。
- 餌場は毎日変えなければならない。
- 季節や天候、羊の様子でコースを変更することがある。





# ● 餌場への移動(1)

- 羊飼いの動き(事前)
  - その日の季節、天候、過去に行った餌場の状況、羊の育成具合などを頭に入れた上で、その日の餌場をどこにするかを考える。
  - 犬たちの体調にも気を配る。
  - 近所の羊飼いから、狼の情報なども仕入れる。
  - 今日の移動で、息子に何を教えるかも考える。  
事前の注意点は、それぞれ個々に情報共有を行いながら、息子に指導する。

## ● 餌場への移動(2)

- 羊飼いの動き(移動中)
  - 道すがらで天候の変化などには気を配る。
  - 個々の羊の動き方や動く方向を誘導するのではなく、群全体を自分の誘導したい方向へ導くべく、犬たちを使いながら、俯瞰的に群をコントロールする。
  - 犬が不審な吼え方をしたら、狼などの可能性があるなので、そちらに注意を向ける。
  - 健康状態が悪くて、変な歩き方をしている羊がいなければ、目の前の羊を主体に個々に目を配る。



## ● 餌場への移動(3)

- 羊飼いの動き(餌場に着いてから)
  - 天候の変化などには、ここでも気を配る。
  - 餌場の状態を記録しておく。
  - 群から外れる羊が出ないように、要所要所に犬を配置する。
  - 移動途中で気をつけた点などを息子に話す。
  - 個々の羊の餌の食べ具合を見ながら、記録しておく。
  - 犬が不審な吼え方をしたら、群から外れそうな羊や狼来襲などの可能性があるので、そちらに注意を向ける。
  - 羊の食べっぷりを俯瞰的に眺め、餌場の様子を見て移動タイミングを計る。
  - 犬たちもかわいがってあげる。



## ● 餌場への移動(4)

- 犬たちの動き(事前)
  - 餌を食べておく。
  - リーダ格の羊の様子を見ておく。
  - 羊になめられないように睨みを利かせておく。
- 犬たちの動き(移動中と餌場についてから)
  - 羊飼いの断片的、突発的な指示から、その意図を汲み取って羊たちを誘導する。
  - 制御しやすいように、群全体の形がいびつにならない囲い込みを行う。
  - 特にリーダ格の羊に注意する。
  - 自分たちの手におえない危険な事態に関しては、ワーニングの上げ方を変える。



## ● 餌場への移動(5)

- 息子の動き
  - 今日の移動で気をつけることを父親に確認する。
  - 前回の反省点を見直し、自分なりの工夫を考える。
  - 気になっている羊の様子に注意する。
- 羊たちの動き
  - 自分たちがもっともうまく餌を食べられるように頑張る。
  - 周辺の羊に付いて行くやる気のないものや体調が悪いものもいる。
  - しばしば、本来の目的を忘れて道すがらの小鳥や花に気を取られて道を踏み外したがる。



## • 水のみ場への移動

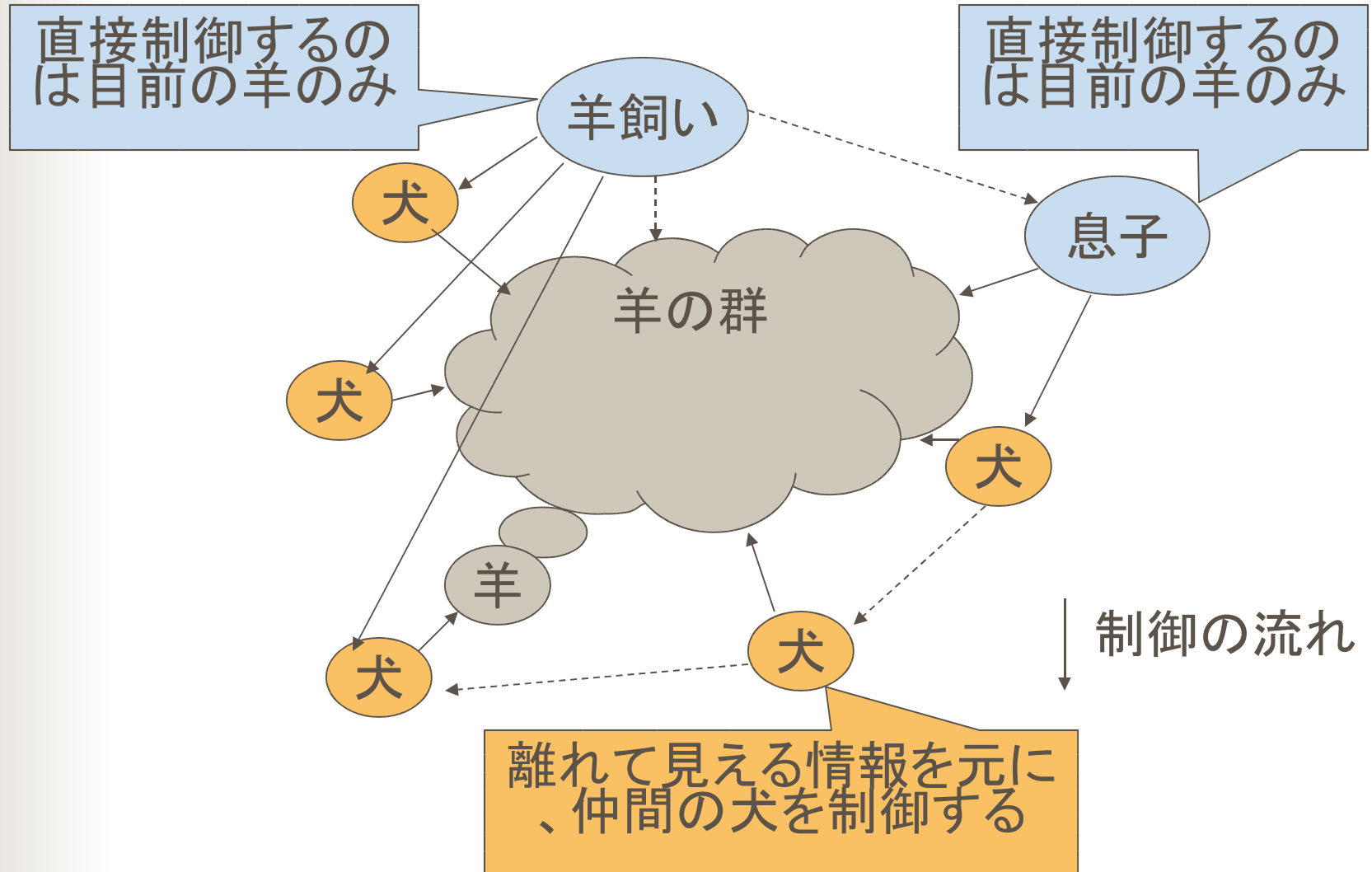
- 羊飼いや、息子および犬の動き
  - 基本的には餌場と同じ。
  - 但し、水のみ場特有の危険な場所などがあるので、そこには気をつける。
  - 毎回、水のみ場に来るたびに、その危険な場所に柵をつけたりして、改善は行っている。
- 羊の動き
  - とにかく、自分たちが飲みたいだけ飲む。



# ● 飼育場と小屋に戻ってから

- 羊飼い、息子の動き
  - 羊を数える。
  - 数えるときに、個々の状態をチェックする。
  - 特に、伝染性の病気などの群全体に影響を及ぼすような兆候がないかは、移動時にチェックした羊についてじっくり見る。
  - その日の状況をお互いに話し合いながら整理し、明日特別に行うことが必要か否かを確認する。
- 犬の動き
  - 疲れを癒すつかの間のひと時。
- 羊の動き
  - とにかく、自分たち快適になるところに行く。

# 情報と制御の流れの整理(1)







# •ポイントの列挙

- 全体をコントロールする上でのポイントに気がつき  
ましたか？
- 私のまとめはポイント列挙でまとめます。
- 請うご期待



# • まとめ

- 請うご期待。